



新潟県作業療法士会ニュース

朱鷺

No. 28

公益社団法人 新潟県作業療法士会
40周年記念事業について新潟県作業療法士会 会長
四方 秀人

会員の皆様には、日頃より士会活動へのご理解・ご協力を頂戴し深く感謝申し上げます。

さて、2025年、団塊の世代が75歳を迎え、超高齢化社会の真ただ中に入りました。そのジュニア世代（45～55歳）も次のボリュームゾーンとして大きな課題になっております。私も51歳ですのでまさにその対象となります。介護予防、認知症対策、地域ケア会議、医療介護連携、インクルーシブ教育、司法における変革、産業の0次予防などなど、作業療法を取り巻く環境は複雑かつ多様化し、生き残るうえでも歩みを止めることができない状況になってきております。

そんな状況の中、周年事業を開催するにあたりその必要性について少し私なりの考えを述べたいと思います。「周年事業は必要なのか」の問いに対し「絶対に必要です」とお答えします。理由は大きく分けると3つあります。

1つ目は会員の結束力・モチベーションの向上を図ること。これは会員が作業療法や士会・組織の歴史を振り返りこれまでの軌跡を実感する大きな機会になります。そして、それまで努力し、積み上げてきた先人たちの歩みを知り、共有することで今後の連帯感を高める機会になります。また何より領域や世代、職域を超えた交流の機会となりコミュニケーションを活性化させる効果も期待できます。

2つ目は作業療法という名のブランディング向上を図ること。周年事業は、改めて外部に「作業療法」という名の職域、歴史（実績）、可能性をアピールする大々的な場になり、今後の新たな職域拡大や、各団体・行政との関係強化に最も効果的です。

3つ目は士会という組織の成長と発展の促進を図ること。周年事業は過去を振り返り、現状を共有し、未来を展望する機会にもなります。周年事業をやりきることで、対外的にも内部的にも達成感が生まれ、今後の会員の結束力強化に有益です。

以上3つが私の考える理由ですが、周年事業をしない団体はありません。医師会は毎年行います。公益社団法人である我々は公に認可された組織であり、社会にとって、県民にとっての利益を還元しなければならない組織です。現在作業療法を必要としている分野が多々あります。教育分野や司法領域、免許センターや産業分野などが代表的な領域ですが、残念ながらそこに有効的に介入するにはまだまだ理解も制度や報酬も整っていないのが現状です。会員一人一人の日々の臨床の積み上げは無論ですが、渉外活動や記念事業等で「社会に必要な、認められた職能団体であること」が今後の「還元」に繋がっていくのです。

是非とも会員の皆様、ご理解いただきたい。どうか、理解だけでなく、積極的な参画もしていただきたい。当日は全力で作業療法をアピールし、感謝を伝えあいましょう。

令和7年度 公益社団法人 新潟県作業療法士会 第17回功労者表彰

令和7年6月15日に燕三条リサーチコアで開催された令和7年度定期総会の会場で第17回功労者表彰の授賞式が行われました。本年度受賞された吉井真理氏、一ノ本隆史氏のお二人の先生方から会員の皆様にメッセージを頂戴しましたのでご略歴と一緒にご紹介いたします。

吉井 真理 氏		特別養護老人ホーム花見の里
<ご略歴>		
H5年3月	東京都立医療技術短期大学	卒業
H5年4月	常勤にて東京都内の病院勤務後、新潟へ帰郷	
H9年10月	非常勤にて介護老人保健施設勤務、市町村の機能訓練事業等	従事
H12年4月	特別養護老人ホーム黒埼の里	入職
H17年4月	特別養護老人ホーム虹の里	勤務
R6年1月	特別養護老人ホーム花見の里	勤務（現職）
<一言メッセージ> 役員としての表彰を賜り、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。様々な委員会に関わらせていただき、事務局長が4年、そして今現在の財務部は今年で10年目を迎えました。毎年、何かしらの失敗がありお詫びをすることがありましたので、今後も過信しおごることなく精進してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。		

一ノ本 隆史 氏		晴陵リハビリテーション学院
<ご略歴>		
H2年3月	神戸大学医療技術短期大学部	卒業
H2年4月	国立下総療養所（現 国立下総精神医療センター）	入職
H6年4月	姫路北病院	入職
H8年4月	晴陵リハビリテーション学院	入職（現職）
<一言メッセージ> この度は身に余る賞を頂き、皆様に心より感謝申し上げます。 私が作業療法士になって30年が過ぎましたが、臨床にいる頃大切にしてきたことは「病院から外にでかけること」です。病院から外に出かけると、障害を持たれた方の実際の生活などを知ることができ、病院内で何をすべきかを考えさせてくれます。そして、OT以外の職種の人との出会いもあります。新たな視点や知識などを得ることができ刺激的です。 是非、OTとして「病院の外」に出かけてみてください。		

音が聞き取りにくい方への福祉用具の紹介

済生会三条病院 作業療法士 榎本 康 佑

今回は、加齢などによって聴力が低下し声などの音が聞き取りにくくなってきた方へ向けた福祉用具を紹介したいと思います。

加齢や病気などにより聴力が低下し他者の声など音が聞き取りにくくなってしまふ方がいらっしゃるかと思います。社会全体としては聴力低下の方が補聴器を使用していることが多くなってきている印象を受けます。しかしながら金銭的な問題やつけ心地など様々な問題から補聴器を使用していない・使用できない方にもお会いする機会があります。重度難聴の方へは今回紹介する機器の使用は困難かと思われませんが私自身が臨床場面で使用させていただき良かったな、便利だなと感じましたので私見も混ざりますが今回紹介させていただきます。今回紹介させていただく製品は株式会社プリモから販売されている助聴器（簡易集音器）です。助聴器とは軽～中度難聴の方の聴こえを補う製品です。簡単な操作でお手軽に話し相手の声やテレビの音声などを聴きやすい大きさにすることができます。3タイプの製品が販売されています（販売終了あり）。私が便利だなと感じたポイントとしては、こちらが製品を持っていれば会話時などに手軽に使用できコミュニケーションがとりやすくなる点でした。対象者の耳に当てるだけで良いので手間を感じることなく、それほど大きな声を出さなくともよいので周囲への配慮という点でも優れていると感じました。製品が気になる方はホームページ上に詳細が書かれています。デモ機の貸し出しもされているようです。他社の製品なども多く存在しており使用感や価格帯は様々と思われます。

《実際の製品》



《実際の製品》



今回紹介させていただいた福祉用具は私自身の見解が含まれています。使用者の身体機能面や環境面・経済面など様々な要素を踏まえ、担当療法士や医療相談員・ケアマネジャー等と相談する際のひとつの考えとして参考にして頂ければ幸いです。

令和7年度

第1回理事会 議事録

日 時：令和7年4月12日（土）14:20～17:00

会 場：新潟県作業療法士会事務局よりハイブリッド開催

【出席者】会場：四方、嶋倉、山中、吉井、山倉（以上、理事5名）

Web：門脇、石井、村山、小山、青柳、齋藤、佐藤、渋谷、上杉、片山、室橋、知名、間宮（以上、理事13名）水越、二村（以上、監事2名）

【欠席者】尾崎（以上、理事1名）

I. 報告事項（一部抜粋）

1) 会長報告（四方会長）

- ・3/10 住宅改修・福祉用具適正化事業
- ・3/11 新潟市の通所Cの受託事業者選考説明会
- ・3/12 県議会議員との意見交換会
- ・3/17 DWATの説明会に出席。
- ・3/21 R7年度新潟市通所C選考会（村山副会長）
- ・4/10 リハ協議会第1回定例会議に出席。
- ・4/12 R6.監事監査、R7.部局長合同会議。

2) 理事報告（一部抜粋）

●地域包括ケアシステム推進委員会（片山理事）

- ・3月下旬に新潟市東区で認知症カフェを運営している端本氏から事務局へ講話の依頼があった。謝金の支払いが難しいとのことで、今回はお断りした。後日、端本氏より東区の「在宅医療・介護連携ステーション東」へ相談があり、新潟市東区支部長の石黒氏へ改めて講話の依頼があった。

●MTDLP委員会（小山理事）

- ・3/13 に第3回MTDLP全国推進会議があり、大谷内委員が出席した。

●在宅ケアを考える会（小山理事）

- ・今年度の「在宅ケアを考える集いin越後2025」はリハビリの専門職を中心にプログラムを企画することとなった。

●地域共生社会推進委員会（青柳理事）

- ・3/26 に新潟市の福祉包括ケア担当の上田氏、権平氏とR7年度の事業相談会を行った。

●40周年記念事業（石井副会長）

- ・来賓名簿の最終確認をしており案内を4月中旬に発送

予定。記念品等の内容を決定し見積もりをとっている。記念誌の寄稿は9名の方に依頼を行う予定。

4/15 に記念誌担当者で会議を予定。

●ブロック内事業（村山副会長）

- ・R7年度の予算は昨年度と同額の予定である。

●生涯教育委員会（佐藤理事）

- ・3/22 にポイント付与作業を行った。

●学会運営委員会（門脇副会長）

- ・学会のよりよい開催、運営についてアンケート調査をしている。期間は4/1～31まで。

●精神分野推進委員会（門脇副会長）

- ・3/25 に刑務所ケアプログラムへの派遣を行いR6年度の事業は終了した。

●リハ協議会事務局（山中理事）

- ・県へR6年度実績報告、決算書を提出した。
- ・市町村からの住宅改修・福祉用具適正化事業、同行訪問の依頼に対して、県福祉保健部と調整

●総会議事運営会議（山中理事）

- ・4/9 に委員会議を開催した。6/15（日）燕三条リサーチコアにて定期総会を開催。

●広報部（尾崎欠席のため報告書より）

- ・県士会HPにメルマガ登録用のバナーを設置。

●表彰委員会（山倉事務局長）

- ・40周年の記念式典の際の県知事表彰と令和7年度県士会表彰についての準備を進めている。

3) 事務局報告（山倉事務局長、山中副事務局長）

- ・4/4 にメルマガ配信を行った。現在、122名の登録数。登録者が少ないことやリンクの開封率が低いことが課題。

4) 財務報告（吉井財務部長）

- ・R6年度の支払いは3/31までに全て完了。R6年度決算書も完成し、公益法人として財務3基準全てを満たした。
- ・流用作業について報告あり。

5) 監事監査報告（水越監事）

- ・二村監事と監査を行い問題はなかった。

II. 協議事項（一部抜粋）

第1号議案 会員管理について

3/31 時点：退会11名 正会員数1,048名（内、休会25名）

4/12 時点：入会1名、退会12名、退会（会員資格喪

失) 14名
正会員数1,008名(内、休会19名)

⇒ 承認

第2号議案 令和6年度 事業報告および決算報告について

1) 事業報告(四方会長)

(1) 作業療法の学的発展への取り組み (2) 作業療法の有効活用の促進 (3) 作業療法の普及と啓発に向けた取り組み (4) 法人の運営管理 以上4点について報告

2) 決算報告(吉井財務部長)

(1) 貸借対照表 (2) 正味財産増減計算書内訳表
(3) 正味財産増減計算書 (4) 財産目録 (5) 収支計算書 以上5点について報告。

⇒ 承認

第3号議案 福祉用具対策委員会 名称変更について

「住宅改修・福祉用具対策委員会」へと変更。

⇒ 承認

第4号議案 令和7年度委員長及びブロック長の選任について

R7年度の委員長、ブロック長の選任

⇒ 承認

第5号議案 40周年記念式典県知事表彰について

個人表彰候補者として水越裕之氏を、団体表彰として県士会を推薦。推薦に関する書類を作成し、県に提出する。

⇒ 承認

第6号議案 新潟福祉フェスタ後援について

後援する

⇒ 承認

以上

令和7年度

第2回理事会 議事録

日 時：令和7年6月15日(日) 13:15～16:55

会 場：燕三条地場産業振興センター リサーチコア
6階 研修室④よりハイブリッド開催

【出席者】会場：四方、石井、門脇、村山、青柳、上杉、尾崎、片山、小山、斎藤、嶋倉、渋谷、知名、間宮、山倉、山中、吉井(以上、理事17名)

水越(以上、監事1名)

Web：佐藤、室橋(以上、理事2名)、
二村(以上、監事1名)

I. 報告事項(一部抜粋)

1) 会長報告(四方会長)

- ・4/15 第3回POS合同学会打ち合わせ
- ・5/8 第1回刑務所ケアプログラム会議
- ・5/15 リハ協議会第1回実行委員会
- ・5/19 よんばち幹事会
- ・5/27 40周年記念事業全体会議
- ・5/29 田中まさし後援会第1回選対会議
- ・5/31 日本作業療法士協会総会
- ・6/1 さいとう洋明衆議院議員ダッシュの会に門脇副会長と参加。

- ・6/5 リハ協議会第2回定例会議

- ・6/9 刑務所ケアプログラム会議

2) 理事報告

●精神分野推進委員会(門脇副会長)

- ・7/5 に長岡市の県立精神医療センターで開催される作業療法見学交流会に向けて準備中。
- ・刑務所派遣は今年度3クールを予定。

●学会運営委員会(門脇副会長)

- ・第3回POS学会が開催予定。6月末までに3士会でプログラム案を取りまとめ、7/3 の会議で最終決定。
- 6/20 から演題募集開始。

●在宅ケアを考える会(小山理事)

- ・5/17 に実行委員会を実施。

●MTDLP委員会(小山理事)

- ・指導者会議、委員会議を実施。
- ・7/27 に基礎研修を実施予定で案内文掲載中。

●40周年記念事業：記念誌について(小山理事)

- ・表紙デザイン案について業者から提出あり。

●学術誌編集委員会(間宮理事)

- ・巻頭文と特集について原稿依頼済み。学術誌の認識、満足度についてのアンケートを作成中。

●40周年記念事業：余興について(間宮理事)

- ・新潟医療福祉大学のよさこいサークルに正式に決定。

●地域包括ケアシステム推進委員会(片山理事)

- ・認知症の人と家族の会(上越・新潟)に委員を派遣。

●移動支援対策委員会(片山理事)

- ・日本作業療法士協会の「運転と地域移動推進班」の

動向を追っていく。

●スキルアップ研修委員会（石井副会長）

- ・会議を2回実施。1回目：予定確認、役割分担。2回目：研修会の内容について検討。

●40周年記念事業（石井副会長）

- ・5/27 全体会議実施。

●地域共生社会推進委員会（青柳理事）

- ・5/29、6/4 に委員会議を実施。

●新潟ブロック（青柳理事）

- ・新潟ブロックに阿賀町、阿賀野市、五泉市が加わる。6/25 に第1回会議を実施予定。

●広報委員会（尾崎理事）

- ・ホームページの会員専用ページのパスワードを変更。今後も変更は可能。広報紙編集作業中。

●現職者共通研修委員会（知名理事）

- ・8/24、31 を候補日として研修会を検討中。Webでの開催を予定。

●現職者選択研修委員会（上杉理事）

- ・今年度は精神障害領域の作業療法ですすめている。11/30 にWebで開催。講師選定中。

●公開講座企画実行委員会（斎藤理事）

- ・10/11 にユニゾンプラザにて公開講座を開催予定（ハイブリッド開催）。

●災害対策委員会（斎藤理事）

- ・6/21 に第11回新潟県災害リハビリテーション研修会を開催。

●ICTサポート委員会（渋谷理事）

- ・研修会を10月25日に開催予定。

●総会議事運営委員会（山中理事）

- ・今年度から委任状をGoogleフォームに移行した。最終的には606（無効数2）。無効票が少なくなったが次年度は定款改訂があり、2/3以上の参加が必要となるため総会が成立しなくなる可能性あり。

●福利厚生委員会（山中理事）

- ・6/29 に生涯教育委員会と同日開催でオンライン座談会を開催。

●新潟県リハビリ専門職協議会事務局（山中理事）

- ・新潟県福祉保健部と住宅改修適正化事業のアドバイザーの活動についてシステム作りを行っている。謝礼金に関する規定や活動報告のあげ方など、他県の状況も確認していく。

●ケア協議会（村山副会長）

- ・地域ケア個別会議に関する研修会（基礎研修会を7/27、応用研修を11月、12月あたりで予定）

●ブロック事業（村山副会長）

- ・6月下旬にブロック長会議を予定。

●こどもサポート委員会（室橋理事）

- ・会議1回実施。POS学会で行う研修会講師について話し合った。国立療養所機構新潟病院小児科医の西巻先生に依頼予定。
- ・学校訪問依頼2件（長岡市内1件、支援学校1件）、他問い合わせはある。

●障害福祉対策委員会（室橋理事）

- ・第1回会議を今月実施予定。

●生涯教育委員会（佐藤理事）

- ・今年度より改正された新生涯学修制度の説明会と相談会を7月・9月・11月に実施予定。

●保険委員会（佐藤理事）

- ・5/23 に医療保険、介護保険における作業療法の算定に関する担当者会議に委員長が参加。

●表彰委員会（山倉事務局長）

- ・5/26 に第1回委員会議を実施。
- ・40周年記念式典の際の県知事表彰に関する必要書類は県に提出済み。

●40周年記念事業：式典について（山倉事務局長）

- ・団体および個人あわせて42名に来賓の案内状を送付、現在までに21件の返答あり。祝賀会出席10件、式典のみ出席3件、欠席8件。

3) 事務局報告（山倉事務局長）

- ・「協会員＝士会員」実現のための施策について、2027年度から一斉導入は先送りになる。

4) 財務報告（吉井財務部長）

- ・国、新潟県、新潟市の納税証明書の手続き終了。

II.協議事項（一部抜粋）

第1号議案 会員が有する権利について（正会員、賛助会員、学生会員）

⇒ 承認

第2号議案 会員管理について（入会・退会・休会・復会）

入会11名、退会1名、復会希望：1名、学生会員入会9名、学生会員退会1名

正会員1,018名（内、休会18名、賛助会員5社（個人

1名)、学生会員31名

⇒ 承認

第3号議案 規定改定について(定款、賛助会員規程、
学生会員規程、会費納入規程)

●定款について

第10条 会員資格の喪失

第11条 会員資格を喪失した者の再入会

第12条 会費の不返還

第23条 役員の構成

●会費納入規程について

第3条 会費の納入期

●賛助会員規程について

第2条 賛助会員の特典

●学生会員規程について

第7条 学生会員の特典

賛助会員規程・学生会員規程の改定

⇒ 承認

※定款、会費納入規程については継続審議

第4号議案 決済システム導入について

●イベントペイの利用について

・キャッシュレス決済が普及している社会的背景と会員の利便性を考慮し、イベントペイの導入について協議する。

⇒ 継続審議(9月理事会までに運用方法について
まとめ再協議)

第5号議案 ゆうちょネットバンキングについて

・財務の振込作業の利便性向上にむけて、ゆうちょダイレクト(無料)使用

⇒ 承認

第6号議案 補正予算(ケア協議会)について

資料提示

⇒ 承認

第7号議案(その他) 40周年記念事業について

・記念誌の表紙と記念品のクリアファイルのデザインについて協議し決定。

・祝宴の時間80分は予定通り。

・会員向けの案内は祝賀会チームでGoogleフォームを用意。会員向けの広報としてHPに掲載するチラシを作成する。LINEでも案内を配信する。

以上

(公社)新潟県作業療法士会定期総会
(令和7年度)議事録

1.開催日時 令和7年6月15日(日) 10:35~11:58

2.開催場所 新潟県三条市須頃1丁目17番地

公益財団法人 燕三条地場産業振興センター リサーチコア研修室④

3.社員 (会員)総数989名

4.出席社員 (会員)数650名(うち委任状出席604名)、傍聴参加2名

5.議案

報告事項

・令和7年度事業計画及び当初予算

決議事項

第1号議案

・令和6年度事業報告及び決算報告(貸借対照表及び損益計算書)

・監査報告

第2号議案 その他

承認決議

第1号議案

・事業報告、決算報告は会場出席者とWEB出席者双方合わせたハイブリッド方式での承認決議を経て、全会一致にて承認。

第2号議案 その他

・総会議事運営委員会より参加者に対し、他審議項目について募ったが、特に挙がらなかった。

以上

施設紹介のページ



岩室リハビリテーション病院

稲田 征男

岩室リハビリテーション病院は昭和45年、新潟市西蒲区の岩室温泉に開設しました。当院は交通事故や労働災害、脳卒中等の後遺症に悩む人が増え、社会問題になっていた時に開設した県内初のリハビリテーション専門病院です。当院のある岩室温泉は自然に恵まれた豊かな場所です。温泉地にある病院のため、病院内にも温泉設備があり患者様や利用者様が入浴しています。

当院の特徴は、回復期・介護医療院・通所リハビリテーション・訪問看護・訪問リハビリテーションを有しており、回復期から生活期に対応しています。また、回復期リハビリテーション病棟では365日体制でリハビリを実施しており、PT18名・OT17名・ST8名・医師・看護師・介護福祉士・管理栄養士・医療相談員が一丸となって、患者様に対してチームアプローチに取り組んでいます。「私達が関わる人々に笑顔のある生活を!」を病院の理念とし、「全力支援 全ては患者さんの笑顔のために」をリハビリテーションの目標に日々頑張っています。



岩室リハビリテーション病院

信、愛、仁 ～伝承と革新を目指して～ 医療法人青山信愛会 新潟信愛病院

作業療法課 松岡 大輔

♪ゆきやこんこ ♪あられやこんこ と新潟の冬にぴったりの「雪」が流行した、今をさかのぼる事114年前、明治44年に新潟脳病院として現新潟市青山に設立。

白樺派を代表する武者小路実篤の提唱する「新しき村」に感銘を受けた2代目の院長が、19世紀後半から欧米の精神障がい者・知的障がい者施設で盛んに導入された農作業を中心とした作業療法施設（実現しなかった）を整備する目的で、昭和13年に入手した現新潟市西区上新栄町の原野10万坪（昭和20年の敗戦により半分以上の土地が外地引揚者の開拓地とされた）へ、♪お魚くわえたドラ猫 ♪追っかけて と国民的アニメ「サザエさん」の放映が始まった昭和44年に病院を移転、昭和57年に新潟信愛病院と改称された。

平成3年、♪心配ないからね～必ず最後に愛は勝つ と歌うKANの如く作業療法を開設した1名と共に34年、今は10名の作業療法士が令和のロマンを纏い、看護助手兼務や本年1月から導入が開始されたCPMS、準備を進めている電子カルテの導入・併設老健の介護医療院転換など病院の革新に呼応した更新に努めながら、世代も生活行為も病態も八百万の個の集団プログラムの真価の伝承を大切にしています。



新潟脳病院



新潟信愛病院

SAKAImed

急性期からの＊
ハンドセラピーを
お手伝いします。

＊ スプリント ＊

酒井医療株式会社
新潟営業所
Tel: 025-278-4777
www.sakaimed.co.jp

YUKYUDO

より良い医療・福祉をコーディネートし
地域社会に貢献する

株式会社 悠久堂医科器械店

SINCE 1957. MEDICAL EQUIPMENT COMPANY

<https://www.i-yukyudo.co.jp>



各種車椅子・座位保持装置・ベッド
・コミュニケーションエイド・福祉機器
・介護用品・介護保険レンタル・住宅改修

(株) G・T・B
(オーエックス新越)

〒956-0002
新潟県新潟市秋葉区市之瀬 349-2
TEL 0250-25-2626 FAX 0250-25-7710
<https://www.gtb-niigata.jp/>

義肢・装具・介護レンタル

ご相談ご用命は弊社にお任せ下さい。

社団法人 日本義肢協会登録・中部125号

(株) 田村義肢製作所

〒950-1151 新潟市中央区湖南21番地11
TEL 025 281-0303
FAX 025 281-0339



LUNA CAST

ルナキャスト[®]
熱可塑性ギプス包帯

硬化後も再成形できる！
手軽で便利な現場の味方

- 70℃以上のお湯で軟化し、素手で使用可能
- 硬化後の補強も簡単
- フィット性に優れている

やさしい目で健康を見つめる

イワツキ株式会社




新潟県作業療法士会事務局

〒950-0872

新潟市東区牡丹山3丁目1番11号 三森ビル301号

<TEL> 025-279-2083 <FAX> 025-384-0018

<E-mail> ot-niigata.toki4721@helen.ocn.ne.jp

No.28 2025年7月24日発行

発行責任者：四 方 秀 人

編集責任者：尾 崎 生

発 行：公益社団法人新潟県作業療法士会広報部

〒950-0983 新潟市中央区神道寺2-5-1

総合リハビリテーションみどり病院

印 刷：株式会社 タ カ ヨ シ

第3回 新潟県リハビリテーション 専門職学術大会

リハビリ3職種の協働が生み出す化学反応 ー予防・増進・支援ー

プログラム

特別
講演

内山 量史先生 (一社) 日本言語聴覚士協会 会長

大会記念
シンポジウム

県民の健康延伸、介護予防に向けたリハビリテーション
～通いの場のマニュアル改訂版を通して～

大会長基調講演

3職種共通セミナー

一般演題 等

2025年 **12月20**日(土) - **21**日(日)

大会長

佐藤 卓也

(一社) 新潟県言語聴覚士会会長/新潟医療福祉大学

朱鷺メッセ

新潟コンベンションセンター

主催：新潟県リハビリテーション専門職協議会

共催：公益社団法人 新潟県理学療法士会

公益社団法人 新潟県作業療法士会

一般社団法人 新潟県言語聴覚士会

学術大会お問い合わせ

新潟県リハビリテーション専門職学術大会事務局 (一社) 新潟県言語聴覚士会事務局内
〒950-0155 新潟県新潟市江南区泉町1-2-30

医療法人社団 こんの脳神経クリニック リハビリテーション科

mail : ngtstjimu@gmail.com